

～市内に新しく生まれた注目企業を紹介します～



▲中尾社長(左)と今年の新入社員のみなさん



▲株式会社リボルブ沖縄が入居するBCコザ

株式会社リボルブ沖縄は、2018年9月に株式会社リボルブ・シス(東京)の子会社として設立され、市雇用促進等施設BCコザに入居。洗練された明るいオフィスは、一歩入ると異空間で、まるでデザイン会社のような感じです。

親会社のリボルブ・シスは、保険、銀行などのお客様向けに高品質なシステムを開発し提供する会社です。設立から8年で売上62億円、従業員数250名超と急成長しています。

社長の中尾敬大さんは、若い頃から大手システム開発会社で活躍していました。独立の経緯を伺うと「若手社員はもちろん、50歳以上のベテラン社員でも知識や経験があれば存分に活躍できる会社を創りたかったからです」と話してくれました。

続いて、リボルブ沖縄の設立経緯についても伺いました。「実は、以前からシステム開発を沖縄に発注していました。次第に、発注するだけでなく、雇用を通して沖縄の経済や人材育成に貢献したいと思うようになり、リボルブ沖縄を創りました。拠点を沖縄市にしたのは、元氣な若者が多くて、交通アクセスも良く、市役所も親身に相談に乗ってくれたからです」

株式会社リボルブ沖縄  
代表取締役社長 中尾敬大さん  
なかお たかしろう



▲リボルブグループは、今年1月、首里城の早期復興を願って300万円の支援金を桑江市長に託しました。



企業紹介の  
詳しい記事が  
ご覧いただけます。

さらに、「社員同士のコミュニケーションを大事にし、長く働きたくなるような会社にしたいですね。利益も社員に還元したいので、活躍次第で入社3年後を目途に給与を東京水準にする予定です。そのためにもリボルブ沖縄は、3年後の売上目標を5億円と設定し、順調に推移していきます」と力強く語ってくれました。

また、昨年、社長自ら豪華なバーベキュー大会を主催し、社員や派遣スタッフの家族、関係者を招待し、もてなしていました。参加者が感動するような対応に、「人を大切にする」や「利益は社員に還元する」「地域に貢献する」といった経営姿勢の一端が伺えました。

新入社員の方にも話を伺ったところ「研修は厳しかったが、先輩の優しさとチームワークで乗り越えました」と充実した研修期間を振り返っていました。

リボルブ沖縄は、そういった社員の活躍により沖縄市を代表するIT企業として、さらなる発展・成長が期待できる注目企業です。

株式会社リボルブ沖縄

■沖縄市中央2丁目28番1号

■沖縄市雇用促進等施設BCコザ2階

■電話番号 098192314401

お問い合わせ 企業誘致課 (内線3241)

市民健康課より  
健康づくり  
ノート

「三次喫煙」を  
ご存知ですか?

タバコを吸い終わっても…

換気をして、臭いが消えても、煙にさらされた物に付着したニコチン等の「タバコ残留物」は長く残留します。タバコを吸い終わった人の吐き出す息には、有害物質が含まれており、周りの人や物に影響がなくなるまで30～45分かかる、と考えられています。

タバコによる健康被害は、受動喫煙ではありません。

「三次喫煙」とは…

受動喫煙とは違う、タバコによる健康被害の新しい概念です。タバコの煙にさらされた髪の毛や衣服等に付着したニコチンなどの「タバコ残留物」が、空気に触れることで化学反応をおこして発生した有害物質(発がん性物質)を吸い込むことによって、健康被害を起こすリスクのことです。

原則、屋内禁煙です!

望まない受動喫煙からみんなの健康を守るために、改正健康増進法が2020年4月1日から全面施行され、飲食店・オフィス・事業所など多くの施設が、原則、屋内禁煙となっています。(経営規模や商業目的によって、経過措置や屋内禁煙の対象とならない施設もあります。)

市民健康課 (内線2241)